

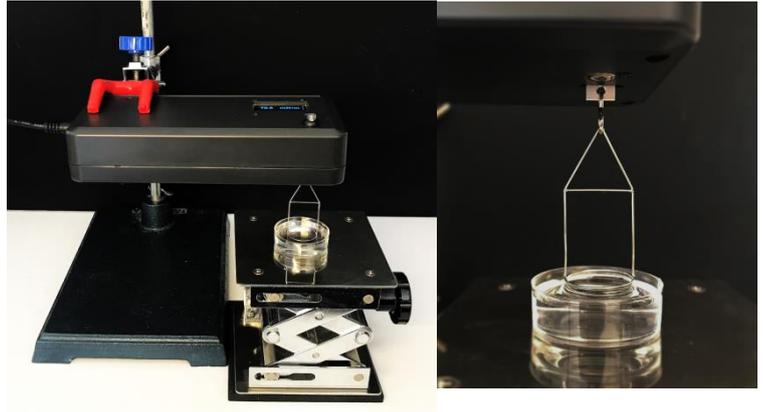
# デュヌイ法 張力計

du Nouy Ring Method Tensiometer, DRT-1

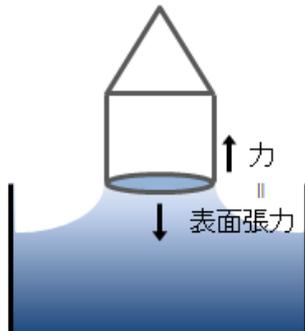


## フレキシブル設計の表面張力計

デュヌイ法（輪環法）は最も代表的な表面張力測定方式のひとつです。DRT-1は、お手持ちのラボスタンドとラボジャッキなどの昇降器具と組み合わせて、すぐにご使用いただくことができます。



## 測定原理



$$f = 4\pi r\gamma$$

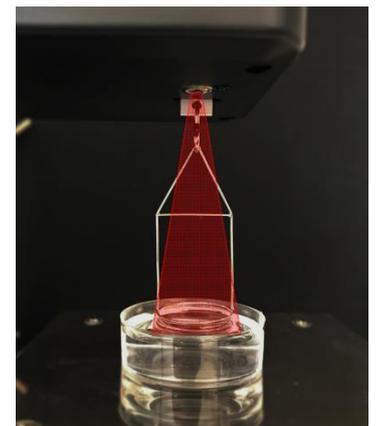
$f$ : 力  
 $r$ : リングの外半径と内半径の平均  
 $\gamma$ : 表面張力

液面に平行に沈めた金属環を垂直に引き上げると、環に付着して引き上げられた液膜の周囲に沿って表面張力がはたらき、引き上げる力に抵抗します。液面から引き離すときにかかる最大張力から、表面張力を測定します。

## 表面張力と温度を同時測定

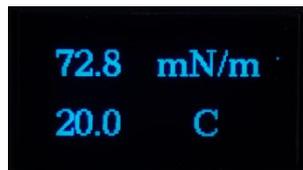
表面張力のほか、表面張力測定時のサンプルの温度も同時測定されます。表面張力は温度依存性を持ちますので、測定結果と温度を関連づけ評価いただけます。

温度センサは非接触式のため、サンプル汚染の懸念や、センサの洗浄などの手間が不要です。



## 簡単操作による測定

測定を開始したら、リングを液面から引き離すだけで表面張力値が自動計測されます。測定結果は、表面張力測定時のサンプル温度とともに、ディスプレイに表示されます。



## 構成品

本体、白金リング、シャーレ、水準器、電源アダプタ、使用手順書

オプション・アクセサリ：

白金リング、キャリングケース

\* 別途、ラボジャッキなどの昇降器具、ラボスタンドをご用意ください。

## 仕様

測定範囲	表面張力	~ 200 mN/m
	温度	- 40 ~ 85 °C
表示分解能	表面張力	0.1 mN/m
	温度	0.1 °C
寸法(本体)		80(W) x 35(H) x 165(D) mm
電源		5V, 2A